

「政策の目標」	政策目標５－３：関税等の適正な賦課及び徴収、社会悪物品等の密輸阻止並びに税関手続における利用者の利便性の向上		(評価書 328 頁)
	評 価 意 見		
評価基準ごとの審査		評価の判断理由等	
1 「政策の目標」の達成度		(基本的状況)	
A 達成に向けて相当の進展があった。		経済のグローバル化・物流の高度化等が進展する中で、貿易手続の効率化など我が国の競争力強化を図るとともに、関税等の適正な賦課・徴収や水際取締りの強化を行うなど、「税」・「関」・「貿易円滑化」の3点につき、効率的・効果的に取り組んでいく必要がある。	
		(21年度の運営概況)	
		輸入事後調査等に重点的に取り組むことにより、関税等の適正な賦課・徴収に努めた。また、貨物や旅客の事前情報をできるだけ早く入手し、取締対象を絞ってハイリスク貨物に対する重点的な取締りを実施するなど、効果的・効率的な取締りを行った。さらに、特定輸出貨物の運送に係る消費税の免税措置について22年度税制改正により措置するなど、国際競争力強化及び水際取締りの充実等に努めた。加えて、税関手続システムの更改を行なうなど、利用者の利便性の向上に努めた。	
		(達成度に係る評価の理由等)	
		我が国の国際競争力強化及び利用者の利便性向上を図る観点から税関手続システムの更改を行ったほか、制度内容の積極的な周知等に努め、17個ある業績指標のうち、10の指標で目標値を達成し、9の指標で達成に向けて前年度を上回る進展があったことから、これらを総合的に勘案し、「A 達成に向けて相当の進展があった。」と評価した。	
		(今後の課題)	
		社会悪物品等の水際取締りについては、引き続き、貨物や旅客の事前情報をできるだけ早く入手し、取締対象を絞ってハイリスク貨物に対する重点的な取締りを行っていく。	
		AEO制度については、税関ホームページ等を通じてそのPRに努め、制度利用の拡大に努める。また、我が国と同様のAEO制度を導入している国との間で相互承認協議等を推進するとともに、アジア諸国等におけるAEO制度に関する技術支援を実施する。	
		さらに、関係省庁システムの統合については、25年度以降の統合を目指し、引き続き検討を行なう。	
2 事務運営のプロセスの適切性、有効性、効率性		(事務運営プロセスに係る評価の理由等)	
適切であった。		(適切性)	
有効であった。		適正かつ円滑な国際物流の実現や利用者の利便性向上を図るため、税関手続の改善、積極的な情報提供等を適時適切に実施するとともに、各種X線検査装置を活用するなど効果的な社会悪物品の水際取締りに努めた。	
効率的であった。		(有効性)	
		① AEO制度のメリット等の周知に努め、同制度の利用者数を増加させた。	
		② Air-NACCSを更改、Sea-NACCSと統合し、輸出入・港湾関連情報処	

	<p>理システム（NACCS）として一つのシステムにすることによって運用コストを低減するとともに、航空貨物に係るシステム利用料金について約3割の引き下げを実現した。</p> <p>（効率性）</p> <p>税関手続の改善のほか、税関システムを更改し関係省庁のシステムと一体的運営を行うことによって、効率性の向上に努めた。また、事前情報を活用する等、効率的な水際取締りに努めた。</p>
<p>3 結果の分析の的確性</p> <p>おおむね的確に行われている。</p>	<p>（結果の分析の的確性に係る評価の理由等）</p> <p>税関手続や水際取締り及び情報提供について多くの業績指標を設定するとともに、アンケート調査も実施し、各指標の実績についての的確に分析した上で、未達成の目標については、原因について明記している。</p>
<p>4 当該政策や、政策評価システムの運用の改善への提言</p> <p>政策について有益な提言がなされている。</p>	<p>（今後の提言等）</p> <p>（政策の改善）</p> <p>AEO制度の利用拡大及び的確な運用並びに各種税関手続等の利用者満足度の更なる向上を図る。また、事前情報等を活用したより効率的な取締りに努める。</p>
<p>講 評 （財務省の政策評価の在り方に関する懇談会）</p>	<p>○ コンテナ物流の合理化・効率化の観点等から、国土交通省の港湾関係のウェブサイト型情報システム「コンテナ物流情報サービス（Colins）」とNACCSとのシステムの連携を検討していただきたい。</p> <p>○ 業績指標17個の中で目標を達成したものが10個であること。利用者の利便性の向上に関しても、利用者満足度が40%以下と低いことから、「B 達成に向けて進展があった。」とすべきである。</p>